

News Release

2005年6月6日

「はたらくを楽しもう」実現計画コンテスト大賞決定！

大賞作品は『目標顕在化プロジェクト』

このたび、総合人材サービスを展開する株式会社インテリジェンス（本社：東京都千代田区丸の内 代表取締役社長：鎌田和彦）が主催する、「はたらくを楽しもう」実現計画コンテストの大賞作品が決定しました。6月3日（金）東京・丸の内ビルMARUCUBE（マルキューブ）にて開催されたイベント「Think！はたらくを楽しもう」でタレントの辺見えみりさんがプレゼンターとして登場し、大賞作品の発表ならびに賞金(100万円)の授与式が行われました。

このコンテストは、全国のビジネスパーソンを対象に「はたらくことを楽しむ」ための実現可能なアイデアを募集したもので、4月1日（金）～5月9日（月）の応募期間中に総計572作品の応募がありました。審査は、「オリジナリティー」「発想の斬新さ」「アイデアの実現の可能性」の観点から行われ、都内在住の会社員 清水哲也さん(36歳)の作品『目標顕在化プロジェクト』（副題：個人版マニフェスト計画）に決定しました。

大賞となった作品『目標顕在化プロジェクト』は、「自分の目標を明確にすること、毎日毎日それを意識し続けることが、はたらくことを楽しむことに繋がる」という発想を起点に、それを「目標顕在化プロジェクト」と銘打ち、社員全員参加の社内活動として展開するプランです。壮大な目標設定ではなく、日々達成が確認できる目標を設定することに着目し、個人版「マニフェスト」として社内・社外に公表することで毎日を活性化しようというものです。

審査では、プランの実行プロセスや展開方法が具体的かつユニークであること、アイデアが特定の個人や会社を限定せず、ビジネスパーソン全体、他の会社でも実施可能な「汎用性」を兼ね備えていることが高く評価されました。

<株式会社 インテリジェンスについて>

株式会社インテリジェンスは、1989年の創業以来、“人と組織を多様な形で結ぶ「インフラとしての人材サービス」を提供し社会発展に貢献する”という企業ビジョンのもと、人材に関する多様なサービスを展開しています。（提供サービス：人材紹介、人材派遣、エンジニア派遣、テクニカルアウトソーシング、アルバイト求人サイト、製造派遣・製造請負、再就職支援、エグゼクティブサーチ、組織・人事コンサルティング）

詳しくは、当社ホームページ<www.inte.co.jp>をご覧ください。

本件に関するお問合せ先

インテリジェンスPR事務局 担当：山田 / 西江

TEL . 03-3403-2232 FAX . 03-3403-2290

株式会社インテリジェンス サポート本部マーケティング部

TEL . 03-6213-9202 FAX . 03-6213-9088 E-mail: pr@inte.co.jp URL: www.inte.co.jp

<添付資料>

大賞作品
『個人目標顕在化プロジェクト～個人版マニフェスト計画』概要

企画意図:

目標があるからガンバル、目標を達成しようと工夫する、目標が達成されたら満足感がある
大きな目標でなく、日常で達成できるその日達成できたりする目標があればきっと仕事は楽しくなる!

プラン内容:(応募パネルから抜粋)



日常で達成できる目標を持つ

会社から言われる数値目標ではなく、毎日達成が確認できる、個人の目標を設定する。

それは仕事の仕方、人との接し方など自分ならではの目標をつくる。
たとえば総務の人なら「スピードに挑戦60分以内仕上げ 総務山田」「ありがとうと一日3回言われたい 経理田中」「私は、提案する総務 山本」など



社内でマニフェスト宣言(ボード)

各自が作った目標を社内で公表。名付けてマニフェストボード。
金属板のプレートや大企業なら電光掲示板を、社員が目にする食堂やオフィス内に設置。目標スローガンと名前を公表してしまう。
電光掲示板ならどんな大企業でも対応可能。3ヶ月毎に新しいスローガンに更新してもOK。継続性確保。



名刺などパーソナルツールも制作

個人の目標をなるべく意識し続けるために、名刺やポストイット、レポート用紙など他の人に渡す機会の多いツールを個人目標スローガン入りで作成しプレゼント。
目標=マニフェストを最大限に周りの人に顕在化させる。

名刺の裏に各個人の目標スローガンが印刷されていると、忘れない、努力する。



目標スローガンなんて考えられないという人に・・・

「Think!スローガン開発キット」

「目標、スローガンなんて考えられない」
という人のために、スローガンを考えるためのThink!キットを用意。

用意されたシートを記入してゆくと、目標の考え方がわかる

「コピーライターじゃないんで難しい・・・」という方のために、市販のコピーライター入門本もプレゼントするもの検討